

第 30 回日本自然災害学会学術講演会で当センターのメンバーが発表・講演しました (2011/11/17-19)

11月17日(木)~19日(土)の3日間、東京大学生産技術研究所(東京都目黒区、駒場リサーチキャンパス)で日本自然災害学会が主催する「第30回日本自然災害学会学術講演会」が開催されました。同学会は、その名の通り、自然災害科学の研究の向上と発展につとめるとともに、防災・減災に資することを目的としている学会です。年に1回、学術講演会が行われ、研究発表による情報共有や交流が行われています。今年度は、土木学会が主催する「地震工学研究発表会」と並列に開催され、いずれかの学会で参加を申しこめば両方の学会に参加できるスタイルがとられました。両学会では、「地震災害」の点で研究のテーマや発表者が両学会で重なる点も多いことからの配慮になります。当センターからは、学術講演会で4件の研究発表を行いました。東日本大震災に関する調査・研究はもちろんのこと、豪雨災害、雪害、森林火災などの様々は自然災害に関する発表も盛んに行われていました。各発表者の講演題目等は次の通りです：

題目

源栄正人, 柴山明寛：2011年東北地方太平洋沖地震における緊急地震速報システムの利活用の実態—学校教育機関における活用事例—

源栄正人, Tsoggerel Tsambaら：2011年東北地方太平洋沖地震における被災建物の振動特性の長期モニタリング

佐藤翔輔, 今村文彦ら：東日本大震災後の沿岸リスク認知と情報収集に関するアンケート調査—宮城県沿岸15市町を対象にして—

島村宗一郎, 今村文彦, 阿部郁男*：東日本大震災における沿岸鉄道・車両への影響評価—東松島市野蒜地区—

矢守克也, 今村文彦ら：東日本大震災における津波避難に関する大規模調査(速報)—今後の調査分析と知見活用に必要なこと

濱崎喜有, 柴山明寛, 大野晋, 岡田成幸*, 佐藤健, 源栄正人：東日本大震災における被災建物の悉皆調査

坂本拓也, 源栄正人, 柴山明寛：アンケート調査に基づく2011年東北地方太平洋沖地震における揺れの実態調査

Tsoggerel Tsamba, Masato Motosaka：Observational records' analyses for dynamic characteristics of a damaged building during the 1978 Miyagi-ken Oki and the 2011 Tohoku earthquakes

慮敏, 真野明, 有働恵子ら：ビデオ画像を用いた東日本大震災津波の河川・陸上伝搬速度の評価

平野隆太郎, 真野明, 有働恵子ら：東日本大震災津波による海浜・河口地形の変化と回復過程

著者が多い発表題目は筆頭者とセンター関係者のみ記載

下線はセンター構成員

*は客員・非常勤のセンター関係者